

八峰白神ジオパーク

連載 115回



事務局

八峰町産業振興課 ジオパーク推進係
☎ 0185 (76) 4605 FAX 0185 (76) 2203
HP <http://www.shirakami.or.jp/~happo-sh-geo/>



白神山地の恵みに生きる

ジオパークには欠かせない大地で暮らす人々
地域の人の話を聞いて、大地と人のつながりを考えます

町を好きになれる活動を



橋海岸の柱状節理の上で

話をしてくれた人

鈴木 和人 すずき かずひと さん

1959年、峰浜水沢生まれ。教職38年間のうち観海小、旧八森小、岩館小、岩子小など八峰町で20年間勤務。趣味は鉄道を利用して、車窓や現地で各地の風景や営みを見ること。

○ジオパークに関わりだしたきっかけ

沢目中学校時代です。国道101号線沿いの水沢川の近くに萩の台山という小高い山があります。昔、スキー場があった場所です。理科の授業で、この山は砂山なんです、「どうして砂山ができたのか」をテーマに学級全員が自転車に乗って現地調査しました。私は、ハマナスが咲いていたのでハマナスがあるからできたんじゃないかという意味不明な考えで……。砂は、風が運んでくるんですね。この八森油田～旧若美付近まで続く砂丘が、ジオパークに興味を持つ最初のきっかけとなりました。

もともと、海岸地形とか、景色を眺めて土地柄を知るの好きなんです。ジオパークの地質・地形は、そこに住んでいる人と密接につながっています。そのことを、自分の地域の誇りとして生活することは大事だと思います。それを、いろんな人に紹介したいという気持ちになりました。

○印象に残っている授業

八森小学校では、平成8年のハタハタをテーマにした授業でした。子どもたちにとって、かつてハタハタが箱代にもならないほど安価な魚だというイメージがなく、中にはおいしくないという子もいます。そこで、授業の中で自分たちでハタハタずしを作って食べさせる時間も設定しました。さらに子どものおばあさんから講師になってもらいました。

岩子小学校では、昭和62年に原野を切り開いた人々～大槻野開拓～をテーマにした授業でした。そこは台地で、水を得ることは困難であることを踏まえ、米作りに必要な水をどうやって取水したか予想させました。子どもたちはよく現地を見ていてたくさんある沼に着目していました。その後、聞き取り調査結果などを基に検証しました。

○子どもたちへの思い

八峰町の子どもたちは活発で、地域に根差した面白いところがあれば食らいつく力があると思います。平成7年に能代山本の児童生徒を対象に「あなたはこの地域が好きか」という調査をしました。小学生だと8割くらいが好きだと答えたんですが、中学校になるとだんだん現実味を帯びて少なくなっていくんです。でも、八峰町の子どもたちには、好きという気持ちを大事にしてほしいですね。

ジオパークが、そのお手伝いの一つになればと思います。秋田県全体でも、ジオパークを活用した教育実践が広がればいいですね。その動きは、ここから発信して広がっていけばいいですね。そんな夢ばかり見ます。



今年度の八森小学校のジオ学習の様子



サプライズ花火が夜空を彩りました

8月14日、八森地区の中浜海岸でサプライズ花火が打ち上げられました。この企画は、新型コロナウイルスの影響で毎年8月15日に実施されていた雄島花火大会をはじめ、多くの夏の行事が中止となったことを受け、中浜地区の住民の集まりである中浜ひとつ森会（白木会長）が主催しました。観客が集まるのを避けるために、事前の告知はしませんでした。次々に打ち上げられる花火が、夏の夜空を彩りました。白木会長は「コロナに負けるなど願いを込めた。花火を見た地域の方々が少しでも元気になってもらえたなら嬉しい」と話しました。

コロナに負けるな
中浜海岸でサプライズ花火

8月28日、役場大会議室で、八峰町と日本郵便株式会社（以下、日本郵便）との包括連携協定締結式が行われました。この協定は、町と日本郵便が地域課題に関する様々な分野で連携し、相互に協力することで、住民サービスの充実と、地域の更なる活性化を図ることを目的としています。森田町長は、「協定の締結により、災害発生時におけるより一層の連携強化や郵便局ネットワークの活用、高齢者や子どもなどの見守り、道路損傷や不法投棄の情報提供など、様々な分野の住民サービスの向上につながっていくものと本当に嬉しく思っています」と話しました。



協定書に署名し、協定が締結されました

日本郵便株式会社との
包括連携協定締結式が行われました



100歳おめでとうございます

9月1日、門脇タカさんが満100歳を迎えられたお祝いに、町から寿詞と祝い金が送られました。タカさんは、大正9年9月1日に旧八森村で6人兄妹の三女として誕生しました。27歳の時に故善七さんと結婚し、1男2女をもうけました。結婚後は、北海道で農業を営み、八峰町へ戻ってきてからはパン工場や木工所など様々な仕事に従事されました。83歳までは、趣味の畑づくりや山菜採りに歩き、よく体を動かしていたそうです。当日は、家族から「おめでとう」と声を掛けられるとうなずきながら笑顔を見せていました。これからもお元気で健やかに過ごされることをお祈りしています。

門脇タカさん（滝の間）が
満100歳を迎えられました

あなたは愛しいペットが亡くなられたときどうしてますか？

年中無休、譲渡犬あります。ご連絡後見学に来てください。家族の一員として大切にご供養しませんか？
お待ちしております。



火葬のご用命は
飼い主様の心に寄り添う
PETrestメモリアルパークまで

動物取扱責任者 中村 厚志
能代市中沢字瓶根2-5
TEL0185-58-5000
ホームページ <http://www.pet-rest.com/>

PET rest メモリアルパーク 霊園部

保管（ホテル）	動-19-10	H30年4月更新	有効期限R5年4月16日
販売	動-19-19	H30年4月更新	有効期限R5年4月16日
貸し出し	動-19-11	H30年4月更新	有効期限R5年4月16日
展示	動-19-12	H30年4月更新	有効期限R5年4月16日
その他譲渡許可	動-19-13	H30年4月更新	有効期限R5年4月16日